



大分市 「FUNAIジュニアガイド」活動の幅拡大



地理情報ソフトウェアを活用した情報発信のワークショップに参加するFUNAIジュニアガイドのメンバーら＝大分市役所

【大分】大分市教委が認定する小中学生らの歴史ガイド「FUNAIジュニアガイド」が活動の幅を広げている。史跡を紹介する動画の制作や、デジタル技術を学習。新型コロナウイルス感染症拡大の影響でイベントが制限される中、情報発信に工夫を凝らしてスキルアップに努めている。

史跡紹介の動画制作  
デジタル技術を学習

ガイドは戦国大名、大友宗麟などをPRしようと2017年に始めた。毎年、市教委が実施する検定の合格者を登録する。これまで大友氏遺跡フェスタやJR九州ウオーキング、遺跡の発掘現場などでガイドを務めた。19年のラグビーワールドカップ大分開催時は英語のガイドにも挑戦した。一方、20年以降は行事がコロナ禍で中止・延期となり、思うように活動できないこともあった。

新たな活動を探る中、昨年10月にメンバー8人が出演する動画(計約30分)を制作した。テーマは大友氏遺跡の整備▽中世の建造物▽史跡の案内など。12月まで市内顕徳町の南蛮B.V.N.G.O交流館で公開した。今年5月の大型連休明けには市公式動画チャンネル

歴史情報の発信へ工夫

で配信するという。3月26日は地理情報ソフトウェアを使った情報発信を学ぶワークショップに4期生ら12人が参加した。地図データ上に、他のデータや資料を表示させるなど多彩な使い方ができるソフト。東京大教授らが解説した。大分上野丘高2年の古長範亜さん(16)は「学校の勉強だけでは学びきれない刺激がある。今後も活動したい」と話した。

ガイドは毎年、一定数を確保しているが、検定の申込者数(昨年度167人)は初年度から横ばいで推移。文化財課は「学校や市ホームページで案内しつつ、露出を増やしていきたい。ガイドの経験は将来の糧になるはず。多くの子どもが関心を持ってくれるよう努める」と話した。(渡辺久典)

**×** FUNAIジュニアガイドになるには年100回以上の検定(50回、計100回)が必要。その上で、ガイドの方法や市の歴史に関する研修(5回程度)を受けた小中学生を認定している。卒業を希望しなければ登録は自動更新され、高校3年時まで活動できる。市教委によると、新型コロナウイルススルー検定を中止した2020年度を除き、17年度以降に延べ29人を認定。現在は14期生の小学5年生・高校3年生計19人が登録している。

大分市教委が認定する小中学生らの歴史ガイド「FUNAIジュニアガイド」が活動の幅を広げています。

2022年5月7日付  
大分合同新聞 11面

①このジュニアガイドは何をPRするために始められましたか。

.....

②このジュニアガイドが過去に挑戦したことは何ですか。

.....

③このジュニアガイドのこれからの課題はどのようなことですか。

.....